

別紙第七

帝國專管祖國還付委員施設措置要領

昭和十一年八月十七日
大本營政府連絡會議了解

1720

第一方針

帝國專管租界行政權還付實施ニ付テハ、租界還付及治外法權撤廢等ニ關スル日本國中華民國間協定ノ本旨ニ從ヒ大東亞戰爭克遂ノ爲メ對支處理根本方針ノ趣旨ヲ具現スル如ク其措置内容ヲ定ムルモトシ還付實施ノ時期ハ各租界ニ部同時ニ本年三月三十日(國民政府還都紀念日)トス

第三要領

措置要領ハ概テ左ニ準據スルモノトス

甲、措置内容概定

一、租界行政權

イ、租界行政權ハ協定ニ基キ支那側ニ還付スルモノナル由リ租界内支那人及非治外法權國人ニ對スル發言權及課稅權並ニ道路橋梁等ニ對スル官轄權等既存ノ各居留地取極ニ基ク租界行政權ハ總テ之ヲ支那側ニ還付

スルコト

只右ニ伴ヒ

(1) 從來租界敬言寮ノ爲使用シ來レル支那人巡捕ハ之ヲ支那側ニ移讓スルコト

(2) 道路橋梁下氷溝梁堤防等ハ之ヲ支那側ニ無償移讓スルコト

(3) 租界外支那人及第三國人ヨリ徵收シ來レル民團民會ノ課金ハ之ヲ廢止スルコト

(4) 租界外行政實施ニ關スル文書類ハ所要ニ應ジ支那側ニ引繼クコト

(5) 各地舊日本租界ハ執モ之ヲ特別ノ行政區トスルコトナク當該市政府ノ一般行政機構中ニ編入スルコト

舊日本租界以外ノ舊租界ニ付テモ右ト同様ノ措置ヲ取ラシムルコト

一 民團民會ノ關係

不租與還付實施ニ伴ヒ民團民會關係ニ付テハ前項ニ依リ

措置直スルモノ外 海外法權ニ基ク課税問題ノ處理ヲ見ル

ニ至ル迄 天津及漢口等ニ於テハ民團又ハ民會ノ課金收入

中ヨリ一定額ヲ支那側ニ送附シ舊租田及ノ地方的行政ニ要

スル經費支辨ニ充當セルコト

右ニ關シ民團又ハ民會ハ支那側ヨリ會計報告ヲ受クルヲ得

ルニ付

ハ民團民會ニ付テハ支那側ノ意思疎通ニ便ナラシムル爲メ

團又ハ民會當局ト中央政府當局ト間ニ總代表的會合ヲ

定期的又ハ所要ニ應ジ隨時開催セルニ付テハ如ク措置スルベシ

ハ天津民團經營ノ公共的事業中

ハ電氣及水道事業ニ付テハ從來ノ如ク民團自營ノ形能ヲ

採ルコトヲ遊クルト共ニ民團ノ財政的基礎ヲ芳慮シ上成

ル可ノ運力ニ該地方ノ當該事業經營主體ニ有債移讓スル等ノ措置ヲ講スルコト

(2) 埠頭ニ付テハ將來適當ノ時機ニ過當ノ經營者ニ抑下ケ

若ハ經營セシムルカ又ハ支那側ニ有債移讓スルコト等ヲ考慮スルモ何レノ場合ニ於テモ日本側ニ於テ之カ使用ニ付特別ノ便宜ヲ享受シ得ル如ク措置スルコト

(3) 該設公園ノ經營ハ支那側ニ移讓セサルコト

三、不動産ニ關スル權利

舊租界内ニ於ケル土地建物等不動産ニ關スル邦人ノ權利利益ノ享受ニ付遺憾ナカラシムル如ク所要ノ措置ヲ講スルコト

四、開埠地ノ範圍

乙、安貝施納目ニ關スル支那側ト協議決定

一、網目取極ノ内容

租界行政權還付實施ニ関シテハ前記甲ニ概定セシタル各
項ノ趣旨ヲ妥見現スルコトヲ目的トシ右ノ外支那側ト協議決
定ヲ要スルモノニ付細目取極ヲ締結スルコト

六 細目取極ノ形式

細目取極ノ形式ハ委員ノ處置ニ一任スルモノトシ各事項ノ細
部ニ關シテハ所要ニ應シ各租界所在地日支當該官憲間
ニ協議、結果ヲ日支双方ノ委員ニ於テ確認スルノ方式ヲ執ルヲ
妨ケサルコト

備考 民間又ハ民會ノ主要事業タル學校經營ニ付

テハ在留邦人子弟教育ノ重要性ニ鑑ミ租界還付及治
外法權撤廢ニ拘ラス支障ヲモテ様適法田ノ措置ヲ講スル

モノトス